



江別ユネスコ協会事務局だより 2015年12月10日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:石津☎381-1069)

高校ユネスコ全道大会が開催されます！一般の方も出席できます

北海道高校ユネスコ連絡協議会の主催による「第43回北海道高校ユネスコ研究大会」が2016年1月30日～31日に、札幌市豊平区の北海商科大学3階で開催されます。今回のテーマは「ユネスコと多文化共生」です。全道のユネスコ活動・ボランティア活動の部活をしている高校生約150人が集まり、在日外国人・留学生等と交流し、意見交換・活動報告などを行います。保護者・大学生・ユネスコ関係者など誰でも出席できます。現代の若者の世界観・価値観を知る良い機会ですので、皆様のご出席をお勧めします。出席申し込みは、当協会事務局でも中継しますので、早めに電話等でご連絡ください。なお、参加料は軽食代を含め1千円です。(当日会場でお支払いください。)

ユネスコ記憶遺産の登録について、日本連盟へ苦情が殺到！

「南京大虐殺」の関係資料が、10月9日にユネスコ記憶遺産に登録されたため、「日本ユネスコ協会連盟を国連ユネスコの下部機関だと勘違いした一般市民・団体の方々」から連盟事務局へ批判と抗議の電話・メール等が多数寄せられました。そのうえ募金協力の辞退や、一部右翼団体からの公開質問状が届くなどトラブルが続いて、業務上に大きな障害が生じたようです。

ご承知のとおり「ユネスコ記憶遺産」は国連ユネスコの事業であり、ユネスコ協会は特段これに関与していないので、これらの抗議は国連ユネスコ本部や日本政府に向けられるべきものでしょう。

今回の問題に関して、日本連盟は国連ユネスコのイリーナ・ボコバ事務局長あてに異議を唱え改善を求める要望書を11月7日に発送して、そのコピーを馳文部科学大臣・岸田外務大臣に送り、特に外務大臣には松田昌士会長から具体的な要望・提案をする文書を添付しました。

世界遺産に「宗像・沖ノ島と関連遺産群」が推薦されます！

9月8日に世界遺産条約関係省庁連絡会議が開かれ、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(福岡県)について、推薦書(暫定版)をユネスコ世界遺産センターに提出することに決めました。今後は2016年2月1日までに推薦書(正式版)を提出し、同年9月頃にイコモス(国際記念物遺跡会議)の現地調査があり、2017年5月頃にその評価結果による勧告が行われます。順調にいくと同年7月頃開催される第41回世界遺産委員会において審議され、問題がなければ登録されます。

その前に推薦されている「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、10月4日にフィリピン人専門家の現地調査を終え、2016年7月トルコで開かれる第40回世界遺産委員会で審議されます。

「使用済み切手」と「書き損じハガキ」の回収運動にご協力を！

当協会では創立当初より「使用済み切手」の回収運動を行い、発展途上国の結核予防など緊急医療活動に協力してきました。また「書き損じハガキ」の回収運動を実施して、日ユ連盟の「世界寺子屋運動」の資金として役立てています。今後とも皆様のご協力をお願いします。切手もハガキも、枚数の多少にこだわらず、集めた分は当協会の事務局までお届けくださるようお願いいたします。

2016年版「日本的な絵入りカレンダー」を寄贈してください

当協会では「カレンダーの国際交換」活動を実施しています。日本の生活文化を外国の方に理解して頂く方法のひとつです。日本の風景・花鳥・行事など日本らしい絵が描かれたカレンダーが人気で、文字だけののは不評です。1本でも結構です。ぜひ当協会の事務局までお届けください。

